

## 郷土資料館

船橋市郷土資料館は、昭和47年(1972年)に、市で最初の博物館として、薬円台公園の一角に開館し、平成30年(2018年)に、リニューアルオープンしました。船橋市を中心とした地域の歴史や文化について、資料の収集・保管・調査・研究をし、展示などを行っています。船橋の魅力を見直し、「ふるさと船橋」への思いを育む資料館として、多くの市民に利用されています。また講演会・見学会・相談業務\*などの事業も行っていきます。  
※地域の歴史・文化についての学習の相談



薬円台公園内にある建物



市内で出土した縄文土器などの考古資料の展示



原始から現代までの船橋の歴史がわかりやすく説明された映像ガイダンスコーナー



馬・鉄道網・都市についてのテーマ展示



太平洋戦争末期に使用された「友情のオルガン」



ちょっと昔の船橋がわかる近現代コーナー



屋外には、実際に貨物列車を引いて35年間働き続けた、蒸気機関車D51 125号機が展示されています。毎週土曜日、日曜日、祝日の午前10時から午後4時まで運転席を公開しています(年末年始・雨天時を除く)。

〒274-0077 船橋市薬円台4-25-19 TEL: 047-465-9680

### ご利用案内

開館時間: 午前9時から午後5時まで  
(入館は午後4時半まで)  
休館日: 毎週月曜日、祝日の翌日(土・日は除く)、年末年始  
入場料: 無料

### 交通案内

○新京成線 「習志野駅」徒歩10分  
○JR津田沼駅北口から新京成バスまたは、ちばレインボバス「郷土資料館」下車徒歩2分

## 令和3年度 千葉県教育奨励賞受賞者

県の教職員の中から、学校における教育実践等に積極的に取り組み、優れた実績を上げているとして、千葉県教育奨励賞を受賞した方々を紹介します。



船橋小学校 教諭 榎橋 寛子  
【外国語(英語)科教育の推進】



芝山西小学校 養護教諭 土田 礼  
【職務の改善及び推進(養護教諭)】

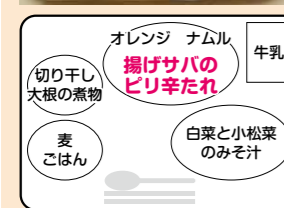


七林中学校 教諭 増満 ゆかり  
【音楽科教育の推進】



三田中学校 主査 渡邊 美紀  
【職務の改善及び推進(学校事務)】

## わが校の給食自慢レシピ 金杉台中学校編 『揚げサバのピリ辛たれ』



金杉台中学校 学校栄養職員 池田美和子

### 材料(4人分)

サバの切り身(60g).....4枚  
しょうが(すりおろす).....1かけ  
酒.....大さじ2  
片栗粉.....適宜  
油.....適宜  
ごま油.....小さじ1  
豆板醤.....2g  
にんにく(みじん切り).....1/2かけ  
醤油.....大さじ1  
酒.....小さじ2  
砂糖.....大さじ1  
水.....大さじ2  
みりん.....小さじ1/2  
万能ねぎ(小口切り).....2本  
白いりごま.....小さじ2

### 作り方

- サバはすりおろしたしょうがと酒を振り、冷蔵庫で30分以上置いておく。
- ①に片栗粉を薄くまぶし、油で揚げる。
- ②ごま油と豆板醤、みじん切りにしたにんにくを鍋に入れて火にかけて弱火でゆっくりと加熱する。香りが立ってきたら、調味料Aを加えて煮溶かし冷ます。
- ③盛りつけ前に②に万能ねぎとごまを混ぜる。
- ④のサバに③のタレをたっぷりかける。

このレシピは生徒が家庭科の授業で作成した献立で、給食で実施したところ大変好評だったメニューです。皮ごと揚げたサバのカリッとした食感とにんにくの風味で、ご飯がすすみます。夏場は、お酢を加えてもさっぱりとして美味しいです。蒸し鶏などとも相性の良いタレとなっています。  
日本近海には、マサバとゴマサバが生息しています。千葉県では、房総半島の沿岸で広く漁獲されています。マサバは晩秋から1月ごろまで、ゴマサバは夏から秋にかけて脂がのり旬を迎えます。サバはDHAやEPA、ビタミン類が多く含まれる栄養価の高い魚です。特に、DHAは同じ青魚であるサンマやイワシより豊富です。

## 教育情報誌

# まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

## 35周年を迎えた『船橋市総合教育センター』

総合教育センターは、昭和23年(1948年)に設置された児童研究所を前身とし、昭和62年(1987年)7月に開所しました。以来、教育関係職員の資質・能力の向上や教育に関する専門的な調査・研究を行うとともに、市民や児童生徒に教育に関するさまざまな情報や学習機会を提供するなど、市民に開かれたセンターとして多くの方々にご利用いただき、今年度35周年を迎えました。

今回は、「学校教育活動を支える」役割を担うセンター内の研究研修班、情報教育班と教育支援室(特別支援教育班、教育相談班)の事業内容について紹介します。



総合教育センター全景

### 研究研修班

教職員の資質・能力の向上を目的とした研修を企画・運営しています。各研修をキャリア形成及び人材育成の指標の一つとして活用するため、「千葉県・千葉市教員等育成指標」と関連付け、受講者が研修の目的を明確にもてるようにしています。  
また、プラネタリウム館では、市民の科学的関心を高めるため「プラネタリウム一般放映」を、理数教育の充実を図るため「プラネタリウム学習放映」を行っています。



中堅教諭等資質向上研修I



プラネタリウム一般放映

### 情報教育班

教育の情報化推進に向けて、ICT機器等の計画的な整備を図るとともに、児童生徒の情報活用能力や教員のICT活用指導力の育成を目的に、指導・助言を行っています。  
また、教職員の業務の効率化を図るため、校務支援システムの運用管理及び教育情報データベースの構築・運用を行っています。



小学校・特別支援学校:iPad



中学校:Chromebook

### 教育支援室

教育支援室では、「不登校」「学習に関すること」「発達や障害に関すること」などの課題を解決することを目指すとともに、子供の豊かな成長を支援します。

#### 特別支援教育班

特別な支援を要する幼児・児童・生徒の就学相談及び教育相談を行っています。また、特別支援学級や通級指導教室の整備を行っており、今年度は、行田東小学校、市場小学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を、海神南小学校、飯山満南小学校、三田中学校に知的障害特別支援学級を開設しました。



#### 教育相談班

心身についての悩みや学校生活への適応、家庭における養育やしつけ、学業、不登校などの電話相談、面接相談(要予約)など、教育全般にわたる相談を行っています。また、今年度はSSW(スクールソーシャルワーカー)を9人配置し、社会福祉などの専門的な知識・技術を用いて、子供の置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行います。さらに、適応指導教室「ひまわり」では、不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のための相談を行い、社会的自立へ向けての支援をしています。

# 「わたしたちの船橋」

令和4年(2022年)1月に「船橋市教育大綱」が改定されました。「船橋の教育2020—船橋市教育振興基本計画—」を確実に推進することを基本とした施策で、特に留意する取り組みの一つとして「『ふるさと船橋』への思いの育み」を掲げています。

船橋の歴史、自然や文化などに関する学びを充実させることで船橋で育つことの意味を子供たち一人一人に持たせ、故郷を誇りに思い、大切にしようとする気持ちを育てています。

今号では、「『ふるさと船橋』への思いを育む」ために、市で取り組んでいる事業の一部についてご紹介します。



令和4年度版「わたしたちの船橋」

## 小学校社会科副読本「わたしたちの船橋」の作成

社会科副読本「わたしたちの船橋」は、子供たちの学習活動が地域の特性に応じて展開されることをねらって、小学校3年生と4年生を対象に作成されたものです。この事業は、昭和41年(1966年)から始まり、今年度で56年目を迎えます。毎年、社会科副読本編集委員会を設置し、副読本の内容の見直しや資料の更新などを行っています。また、授業でより効果的に扱うことができるように、副読本活用のための研修、学習指導要領に沿った「指導の手引」の作成をしています。



創刊号からの「わたしたちの船橋」



社会科副読本編集委員会の編集会議の様子



令和4年度3年生版の中にある「市内にある公共施設」のページ

### 【もくじ】

#### 3年生版

1. わたしたちのまち
2. 人びとの仕事
3. くらしを守る (火事、事故や事件)
4. 市の様子のうつりかわり

#### 4年生版

1. わたしたちの千葉県
2. 住みよいくらし
3. くらしを守る (地しん)
4. 郷土のうつりかわり
5. 県内の特色ある地域と人々のくらし

## 小学校社会科副読本「わたしたちの船橋」に沿った校外学習バスの配車

市立の小学校及び特別支援学校小学部は、校外学習における学習の充実を図るために「学習バス(キッズ船橋号)」を利用しています。小学校社会科副読本「わたしたちの船橋」の内容に沿って行先を決め、船橋の歴史、自然や文化などに触れる学習をすることにより、「ふるさと船橋」への思いを育てています。

### 〈行先の一例〉



広場でお弁当を食べる場所を探す子供たち

### ふなばし アンデルセン公園

童話作家H.C.アンデルセンの生誕地であるデンマークのオーデンセ市は、船橋市の姉妹都市でもあります。広い園内には、アスレチックや子ども美術館での体験活動が楽しめるゾーンもあります。



栽培試験をしている野菜について説明を受ける子供たち

### 農業センター

農業センターは、都市農業(市街地及びその周辺の地域において行われる農業)の振興と産地の育成を図るために、野菜、果樹などの新品種、新技術の栽培試験や土壌診断などを行っている施設です。



スタッフと共に干潟の生きものを探す子供たち

### ふなばし三番瀬 環境学習館

ふなばし三番瀬環境学習館は、三番瀬や環境について楽しく学べる施設です。干潟に生息している生きものや生態系が学習できます。干潟に出てカニや野鳥を探すフィールドワークなども充実しています。



昔の本町通りの様子について話を聞く子供たち

### 歴史ある呉服店

明治5年(1872年)に建てられた本町通り商店街にある呉服店は、創業140年以上の歴史があります。船橋の町並みや人々のくらしの変化を知ることができます。

## 令和3年度 第57回 教育研究論文

船橋市では、教職員が日々の指導の工夫・改善に取り組んだ研究や実践の記録を「教育研究論文集」にまとめて広く紹介し、教職員のさらなる資質の向上のために役立てています。昭和40年(1965年)から始まった本事業は令和3年度で第57回を迎え、応募された論文総数は930編に上り、本市教育の貴重な財産となっています。昨年度は、コロナ禍での研究実践報告となりましたが、教科、特別支援教育、学習指導、ICT機器の効果的な活用、総合的な学習の時間など、多岐にわたるテーマに取り組んだ12点の論文が寄せられました。

### 教育長賞



葛飾中学校  
(共同研究)  
代表  
教諭 鈴木 諭子

### 葛飾中学校

教諭 杉田 茜  
教諭 本田 満裕  
教諭 谷本 啓輔  
教諭 屋代 奏絵 (現:行田中学校)  
教諭 平田 裕衣子 (現:高根台中学校)  
教諭 渡邊 公彦 (現:市川市立第七中学校)  
講師 森 千穂里 (現:芝山中学校)

教諭 糸山 裕輔  
教諭 進藤 雅史  
講師 太田原 彩子

教諭 石井 歩野花  
教諭 橋本 大

教諭 伊藤 結有  
教諭 和田 睦子

教諭 川崎 麻美 (現:八木が谷中学校)  
教諭 三浦 寿典 (現:大穴中学校)  
講師 岩本 直樹 (現:御滝中学校)

### カリキュラム・マネジメントの側面を意識した総合的な学習の時間の取り組み —生徒の多様な表現を生み出すチーム作り—

本実践は、学習指導要領の改訂でより一層明確にされたカリキュラム・マネジメントの側面にのっとり行った、総合的な学習の時間の取り組みをまとめたものです。生徒のよりよい学びのために、学年チームで取り組めたこと、様々な方の協力が得られたことで、有意義な実践となりました。この度は素晴らしい賞を頂き、心より感謝申し上げます。

### 優秀賞

南本町小学校 教諭 小池 典子 (共同研究)  
(現:宮本小学校)  
芝山西小学校 スクールカウンセラー 高野 里絵  
教諭 野村 杏

### 優良賞

小栗原小学校 教諭 岡崎 鷹志  
八栄小学校 教諭 田中 基紀  
坪井小学校 教諭 藤浪 和広

### 奨励賞

法典小学校 教諭 今崎 悠樹 (現:高根東小学校)  
法典小学校 教諭 玉田 美帆 (現:三咲小学校)  
法典小学校 教諭 馬場瑠由那  
法典小学校 教諭 矢作 仁輝  
丸山小学校 教諭 内田 瑞恵  
船橋中学校 教諭 大和田千裕

注:令和3年度の所属名で記載しています。なお、令和4年度に異動した教職員は( )内に記載しています。

### 審査員長講評



日本女子大学  
教授 坂田 仰

継続は力なりという言葉がありますように、これで皆さんの研究が終わるわけではありません。この研究をどう発展させていくのかが、今後の課題となると思います。1つの視点から見たときに、この論文は評価に値するけれど、別の角度から見たらまた違う景色が見えてくるかもしれません。縦と横の糸を紡ぐような、研究の複眼的視点が今後、重要になってくると思います。ぜひ、研究を続けて、いつかその集大成を示していただけましたら、審査にあたった私としては本当に嬉しいかぎりです。期待しています。

## 初任者研修 船橋市内巡見

市内小・中・特別支援学校の新任教諭が参加する初任者研修の中には、船橋市について見聞を広める「市内巡見」があります。令和3年度の研修(船橋市について知る)ではバスを利用して市内各所を巡り、車窓から見える船橋の姿や現地での見学をとおして、船橋の歴史にふれたり、農水産業の様子や地理などについて学んだりしました。研修をとおして参加者は、改めて「船橋」の魅力にふれることができました。



総合教育センターのプラネタリウム館では、天文教育についての講話を聞きました。



飛ノ台跡公園博物館では、縄文時代の遺跡を見学しました。



船橋漁港では、海岸の埋め立て地の変化について説明を受けました。